

文部科学大臣杯

第 59 回 全日本大学女子ソフトボール選手権大会

大会開催要項

- 1 主 催 (公財) 日本ソフトボール協会、(一社) 全日本大学ソフトボール連盟
- 2 共 催 安城市・安城教育委員会・(公財) 安城市スポーツ協会・(一社) 大学スポーツ協会
(UNIVAS)・国際・全国大会推進活動実行委員会
- 3 後 援 スポーツ庁
- 4 主 管 愛知県ソフトボール協会・安城市ソフトボール協会
- 5 協 賛 株式会社 JTB、ミズノ株式会社
- 6 会 期 令和 6 年 8 月 30 日 (金) ~ 令和 6 年 9 月 1 日 (日) [予備日 9 月 2 日 (月)]
- 7 会 場 安城市総合運動公園 野球場 A・B
デンソーブライトペガサスタジアム (安城市ソフトボール場) A・B
愛知県安城市新田町新定山 41-8 東祥アリーナ安城 (安城市体育館)

- 8 参加チーム 下記の通りとする

北海道 東北	関東	北信越	東京	東海	近畿	中国	九州	合計
2	6	1	6	5	7	3	2	32

- 9 参加資格 (公財) 日本ソフトボール協会及び (一社) 全日本大学ソフトボール連盟に各支部を通じて令和 6 年度の加盟登録をした大学女子チームに限る
所属長が身体、人物ともに適当と認めた者

- 10 チーム編成 大会登録人数は、以下の通りとする

- 部長 1 名
- 監督 1 名
- コーチ 2 名
- スコアラー 1 名
- 主務 1 名
- 選手 30 名以内 (ベンチ入りは 25 名)

トレーナー業務を行う者としてトレーナー 1 名のベンチ入りを認める
外国人選手がいる場合は通訳 1 名のベンチ入りを認める

- 11 出場資格 本大会の出場チームは、所定の子選または推薦を経て出場権を得たチームに限る
監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をすること
監督またはコーチは次の①~③のいずれかの資格を有すること

- ① 公認コーチ 1 ~ 4
- ② ソフトボールスタートコーチ (学生監督、学生による監督代行の場合のみ)
- ③ 公認準指導員

指導者資格保持者は、指導者登録証等および本人確認を行うための身分証明書を

- 携帯すること、また試合中はベンチ内にいなければならない
スコアラーは公式記録員の資格を有すること
- 12 申込方法 出場資格を得たチームは、参加申込書などの複数の書類に必要事項を明記の上、各関係の認印を受け、別紙 学連委員連絡事項に示す通り申し込むこと
- 13 参加料 1 チーム 40,000 円（方法等は、別紙 学連委員連絡事項を参照）
- 14 競技規則 2024 年度オフィシャルソフトボールルール
- 15 試合球 （公財）日本ソフトボール協会検定革製 3 号球アメアスポーツジャパンとし主催者が準備する
- 16 試合方法 トーナメント方式
・3 回 15 点、4 回 10 点、5 回以降 7 点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする
・無効試合かどうかに関わらず、全ての状況においてサスペンデッドゲームを採用する
・日没および荒天に起因するコールドゲームは採用しない
- 17 表彰 ① 優勝チームに表彰状、優勝旗、優勝杯、優勝メダルを授与する
② 準優勝チームに表彰状、準優勝杯、準優勝メダルを授与する
③ 3 位チームに表彰状、3 位メダルを授与する
④ 優勝旗、優勝杯、準優勝杯は持ち回りとする
⑤ 個人表彰として最優秀選手 1 名、優秀選手 1 名、最優秀安城市長賞 1 名、優秀安城市長賞 1 名を表彰する
- 18 費用 出場選手の旅費、滞在費は全て出場チームの負担とする
- 19 組合せ抽選 試合の組み合わせは 7 月 25 日（木）14 時より 東祥アリーナ安城（安城市体育館）第 1 会議室において主催者および管理者立ち合いのもとに公開代理抽選によって決定する
- 20 出場大学連絡会議 8 月 29 日（木）13 時より 東祥アリーナ安城（安城市体育館）内、1 階アリーナにて開催する。出場大学の監督、学連委員は必ず出席のこと
- 21 監督会議 8 月 29 日（木）14 時より 東祥アリーナ安城（安城市体育館）内、1 階アリーナにて開催する。監督はユニフォーム着用で出席のこと
- 22 審判・記録会議 8 月 29 日（木）15 時より 東祥アリーナ安城（安城市体育館）内、第 4 会議室で行う
- 23 開会式 8 月 29 日（木）16 時より デンソーブライトペガサスタジアム（安城市ソフトボール場）A にて実施する
開会式は監督、コーチ、選手全員が参加すること（大会登録外のメンバーも参加できる）
- 24 保険 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急処置を行うと共に（公財）日本ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険（死亡・後遺障害 500 万円、入院日額 3,500 円）の範囲内で補償を行う
大会参加者は、健康保険証を持参し、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい
- 25 その他 ・出場チームは必ず部長・監督によって引率され、選手の全ての行動に対し責任を

負うものとする

- ・全日本大会を棄権したチームは、当該年度および次年度の公式試合の出場停止とする。棄権チームに対する処置は日本協会理事会で決定する
- ・宿泊および昼食については株式会社 JTB を通じ申し込むこと
- ・本大会の試合は UNIVAS により動画配信を行う
- ・雷鳴がかすかでも聞こえたら直ちに試合を中断する
- ・熱中症予防の観点から天候に応じて試合中に給水タイム（5分程度）を設ける場合がある。その判断は、大会役員または審判員が行い、事前に両監督に通達する
- ・練習会場案内や大会日程、試合時間等は決定次第、HP や SNS にて通知する。
- 練習、アップ会場は他大学と重なることがあるため協力して使用すること
- ・雨天時の練習場の確保について、主催・主管は一切の斡旋・配置・調整等を行わない
- ・その他詳細については、参加チームに直接連絡するとともに、監督会議で定める

問 合 せ 先 （一社）全日本大学ソフトボール連盟が作成運営する SNS（学連委員連絡事項参照）を通じて、問い合わせを行うことができる。問い合わせを行う際は、自らの大学名（所属）、名前、役職を明らかにした上で実施すること。
参加チーム以外からの問い合わせは（一社）全日本大学ソフトボール連盟（jcsf.softball@gmail.com）にて受け付ける